

みずほCustomer Desk Report 2021/12/01号(As of 2021/11/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.80
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	113.80	1.1293	128.53	1.3314	0.7146
SYD-NY High	113.90	1.1387	128.60	1.3371	0.7170
SYD-NY Low	112.54	1.1235	127.65	1.3195	0.7063
NY 5:00 PM	113.15	1.1336	128.28	1.3298	0.7132
NY DOW	34,483.72	▲ 652.22	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	15,537.69	▲ 245.14	日本10年債	0.0500	▲2.00bp
S&P	4,567.00	▲ 88.27	米国2年債	0.5650	7.09bp
日経平均	27,821.76	▲ 462.16	米国5年債	1.1669	0.96bp
TOPIX	1,928.35	▲ 20.13	米国10年債	1.4545	▲4.68bp
シカゴ日経先物	27,675.00	▲ 655.00	独10年債	-0.3450	▲2.00bp
ロンドンFT	7,059.45	▲ 50.50	英10年債	0.8085	▲6.50bp
DAX	15,100.13	▲ 180.73	豪10年債	1.7500	▲1.90bp
ハンセン指数	23,475.26	▲ 376.98	USDJPY 1M Vol	8.18	0.21%
上海総合	3,563.89	1.19	USDJPY 3M Vol	7.70	0.03%
NY金	1,776.50	▲ 8.70	USDJPY 6M Vol	7.61	0.05%
WTI	66.18	▲ 3.77	USDJPY 1M 25RR	-1.11	Yen Call Over
CRB指数	219.187	▲6.53	EURJPY 3M Vol	7.86	▲0.06%
ドルインデックス	95.99	▲ 0.35	EURJPY 6M Vol	8.08	▲0.04%

東京	東京時間のドル円は113.80レベルでオープン。日本株の堅調な推移を横目にドル円は113.90まで上昇。しかし、新型の変異株感染拡大懸念により不透明感が漂う中、上値は重く、113円台半ばを推移。終盤にかけて、米大手製薬会社のCEOから既存ワクチンの効果が限定的との見解が示されたことで、リスクオフの展開。日本株はプラス圏からマイナス圏へと転落しドル円は112.98まで下落。一巡後は若干値を戻し113.19レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.19レベルでオープン。オミクロン変異株の懸念で欧州株が下げる中、円がリスク回避通貨として上昇。112.68まで売られるが、その後はドルが全般的にやや持ち直すとドル円も一時113円台を回復。結局112.95レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	過度なオミクロンに対する懸念が後退し海外市場で113.90まで戻したドル円は、米大手製薬会社CEOがオミクロンは既存のワクチンの効果がほとんど見られないと発言したことから、リスク回避の動きに米金利が低下しドル売りが強まり、株式市場も軟化する動きに円買いも強まり、短期的なサポートとしてみられていた112.70を抜け、112.68まで下落し、112.95レベルでNYオープン。朝方は米金利が低下する動きに再びドル売りが強まり112.54まで下落する。その後は独製薬会社がワクチン接種者は重症化することから守られるだろうとの見方を示したことや、上院銀行委員会でのパウエル議長の議会証言で、「インフレについて一時的との言葉を使うのをやめる時がきたようだ」「テーパリング終了も2、3か月早めることを検討するのも適切」との発言も伝わり、効的な発言に米金利が急伸する展開に、ドル円も113.70まで急速に戻す。その後は米金利が上昇幅を縮小したことからドル円も利益確定の売りが持ち込まれ、113.00まで下落する。終盤に掛けては米議会予算局が「米財務省の資金、年末前に尽きる可能性もある」との見方を示したが、ドル円の反応は限定的となり、113.15レベルでクロスした。一方、ユーロは海外市場でドル売りが強まったことから1.1373まで戻し、1.1354レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.1387まで戻したが、前述のパウエル議長の議会証言内容にドルが急速に買い戻され1.1235まで急落する。しかしドル買いが一巡するとドルが売り戻される展開にユーロは1.1346まで戻し、1.1336レベルでクロスした。

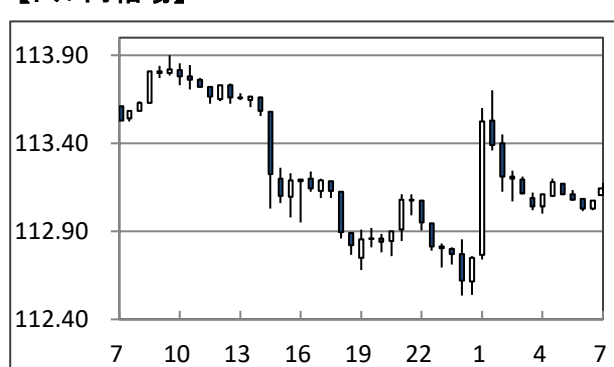
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月30日	10:00	中 非製造業PMI	11月 52.3	51.5
	10:00	中 製造業PMI	11月 50.1	49.7
	19:00	欧 CPI速報値(前年比/前月比)	11月 4.9%/0.5%	4.5%/0.1%
	22:30	米 コンファレンスボード消費者信頼感	11月 109.5	110.9
	22:30	加 GDP(前年比)	9月 3.4%	3.3%
12月1日	00:00	米 パウエルFRB議長 講演	「インフレについて一時的との言葉を使うのをやめる時がきたようだ」	

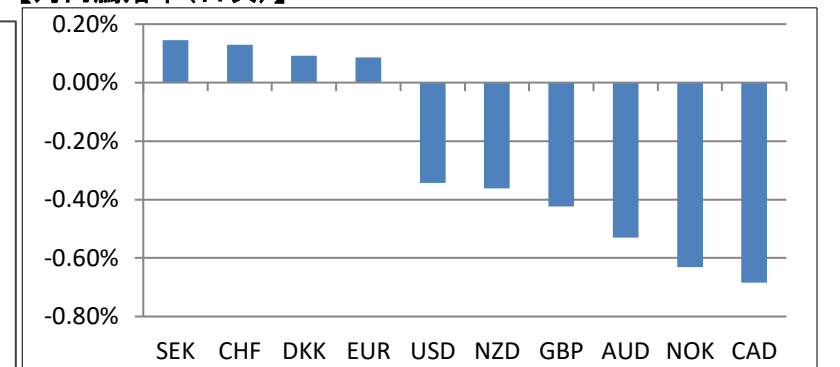
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月1日	09:30	豪 GDP(前年比)	3Q 3.0%	9.6%
	22:15	米 ADP雇用統計	11月 525k	571k
	23:45	米 マークイット製造業PMI・確報	11月 59.1	59.1
12月2日	00:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
	00:00	米 建設支出(前月比)	10月 0.4%	-0.5%
	00:00	米 ISM製造業景況指数	11月 61.2	60.8
	04:00	米 ページブック		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.50-114.00	1.1200-1.1400	127.00-129.00

【マーケットインプレッション】

日中は月末の実需交錯に加えて多くのヘッドラインに上下する展開となった。仲値にかけてドル買い優勢となり113.90まで上昇するも、そこが高値。午後にかけて輸出勢のドル売りでジリ安となる中、モデルナ社CEOが「オミクロンに既存ワクチン効果薄い」とコメントしたことや、国内でオミクロン株の初感染者が確認されたことからリスクオフ姿勢が強まり113円をブレイク。その後も欧州株の下落を横目にドル円は112.54まで円高が進行。米国時間にはパウエルFRB議長の「インフレについて一過性という表現をやめる時が来た」とタカ派コメントに113.70までドルが買われたものの、その後は続かず113.10-20ゾーンに反落してクローズ。本日は、オミクロン株に対する警戒感が燃る中、リスクオンにはなり切れず、ドル円は引き続き上値重く推移しそう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:牛島・小野崎